

平成28年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成29年5月

伊丹市（兵庫県）

○計画期間：平成28年4月～平成33年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、認定基本計画において「質の高い地域資源を活かし、選ばれるまちに～にぎわいと郷町（まち）の活力（ちから）を未来（このさき）へ～」をコンセプトとし、「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町（まち）なか」、「まちの魅力を高め、訪れたい郷町（まち）なか」、「もてなし心のある、住みたい郷町（まち）なか」という3つの目標を掲げている。初年度である平成28年度は、新たに集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進める空き店舗リノベーション事業や、空き店舗を活用し開業する者へ一定期間家賃等の補助を行う「空き店舗出店促進事業」をスタートさせ、従前からの創業者育成のための創業塾の開催と併せて、魅力ある商業集積と空き店舗の減少を図った。また、来街者が回遊しやすい環境整備のため、情報取得を円滑にできるWi-Fi設備の整備や、放置自転車の減少と円滑な通行区間確保のため自転車駐車場整備に取り組んだ。さらに中心市街地のほぼ中心に位置する三軒寺前広場では、広場を活用したイタミ朝マルシェなど数多くのイベントを実施し、来街者の増加を図った。定住促進に関しては、民間事業者によるマンション建設事業や保育園の開設事業が進められたことにより、今後の定住人口の増加が期待されている。

一方で、文化施設利用者数の増加については、図書館の交流フロアを活用した図書館交流事業、文化施設共通のパフレット作成、文化施設連携事業により、来街者の回遊性向上と施設利用者数の増加を図ったものの、利用者数が前年より減少しており、継続的な課題となっている。

2. 平成28年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

昨年度事業について概ね実施できたことにより、目標達成に向けて着実に進んでいる。また、伊丹市立図書館（ことば蔵）はNPO法人「知的資源イニシアティブ」が全国3千を超える公立図書館のほか、大学図書館、図書館関連のプロジェクトなどから選ぶ「Library of the Year2016大賞」を受賞し、三軒寺前広場は一般財団法人国土政策研究会が主催する「まちなか広場賞」の「特別賞」を受賞するなど、良い結果が目に見える形で現れていることは評価できる。ただし、文化施設利用者数や空き店舗数については進捗数値が低いため、今後、目標達成のために必要な図書館交流事業や文化施設連携事業の強化、空き店舗出店促進事業の周知に取り組むことによって、目標達成できる状況であると評価する。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町（まち）なか」	文化施設（8施設）利用者数	950,104 人 （H26 年度）	1,146,000 人 （H32 年度）	935,915 人 （H28 年度）	—	③
「まちの魅力を高め、訪れたい郷町（まち）なか」	中心市街地 空き店舗数	121 店舗 （H27 年度）	90 店舗 （H32 年度）	116 店舗 （H28 年度）	—	③
	2軸における 歩行者・自転車通 行量	35,719 人 （H26 年度）	41,000 人 （H32 年度）	38,481 人 （H28 年度）	—	①
「もてなし心のある、住みたい郷町（まち）なか」	中心市街地にお ける居住人口	13,928 人 （H27）	15,638 人 （H32）	14,115 人 （H28）	—	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地における文化施設（8施設）利用者数」については、基準値となる平成 26 年度からやや下回っているものの基本計画登載事業の実施を継続して進めることにより目標達成可能と見込まれる。

「中心市街地の空き店舗数」については、基準となる平成 27 年度から 5 店舗減少しているが、同様のペースでは平成 32 年度の目標値には達しないため、さらに創業支援や空き店舗の利活用に力を入れる必要がある。

「2軸における歩行者・自転車通行量」については、中心市街地の定住人口の増加があったため上昇しており、さらなる事業の取組みにより目標達成が可能と見込まれる。

「中心市街地の居住人口」については、マンション建設事業や保育園開設事業が完了したこともあり、上昇している。また今後も建設が予定されているため、目標達成が可能と見込まれる。

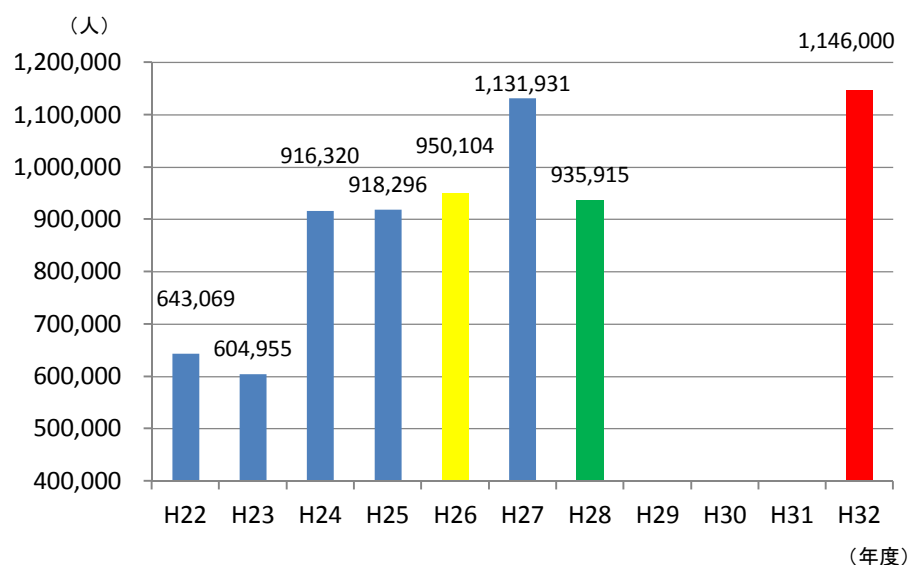
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

今回は初回であり、前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

①「文化施設（8施設）利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P79～P81 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H26	950, 104 (基準年値)
H28	935, 915
H29	
H30	
H31	
H32	
H32	1, 146, 000 (目標値)

※調査方法：各文化施設利用者及びイベント入場者集計

※調査月：平成 28 年度

※調査主体：伊丹市

※調査対象：各文化施設

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・図書館交流事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 24 年度～【実施中】
事業概要	図書館（ことば蔵）は、貸出サービスだけでなく、交流ゾーンを設け、市民、図書館職員による交流事業を実施し、回遊性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度は 203 件のイベントが催され、年間延べ 8,891 人の参加があったことにより、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。 また、交流事業などが認められ、Library of the Year2016 大賞を受賞した。

・文化施設連携事業（文化振興財団、伊丹市）

事業完了時期	平成 20 年度～【実施中】
事業概要	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設（図書館等）、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーの実施など、有機的な連携を図る。
事業効果及び進捗状況	文化施設等のイベントや中心市街地のイベントをまとめて掲載する案内を発行し、周辺地区の賑わい創出に寄与した。

・観光 Wi-Fi 整備事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 28 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	中心市街地内に公衆無線 LAN の環境整備をすることにより、国内外を問わず観光客の回遊性を図る。
事業効果及び進捗状況	中心市街地において 11 箇所の Wi-Fi 整備事業が完了し、文化施設の回遊性が向上した。

・自転車駐車場整備事業（伊丹市）

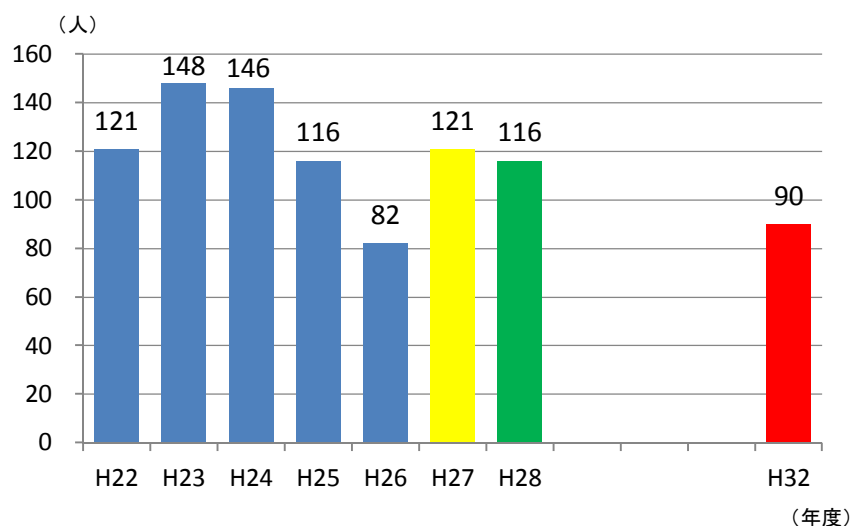
事業完了時期	平成 28 年度～平成 29 年度【実施中】
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	阪急伊丹駅周辺 2 か所に機械式路上駐輪ラックを追加設置したことにより、文化施設の回遊性が向上した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 28 年度に予定されていた施策は概ね実施することができたが、利用者数は基準値を下回る結果となった。しかし、基本計画に位置づけた事業の実施を着実に進めることにより目標達成可能と見込まれる。今後は中心市街地等とのタイアップを進め、利用者数の増加を図っていく。

②「中心市街地の空き店舗数」※目標設定の考え方基本計画 P81～P83 参照

●調査結果の推移



年	(店舗)
H27	121 (基準年値)
H28	116
H29	
H30	
H31	
H32	
H32	90 (目標値)

※調査方法：中心市街地内を現地確認（視認ならびに近隣への聞き取り）

※調査月：平成 28 年 11 月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：中心市街地

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・空き店舗リノベーション事業（伊丹都市開発(株)、民間事業者など）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
事業効果及び進捗状況	民間事業者による空き店舗リノベーションが 1 件ありカフェが開業し、空き店舗数減少に寄与した。

・創業塾の開催（商工会議所）

事業完了時期	平成 18 年度～【実施中】
事業概要	創業準備中の方や、将来、起業を考えている方誰もが参加できる創業塾や、女性だけを対象にした女性創業塾を開催し、開業に向けてサポートし、商業の担い手を育成する。
事業効果及び進捗状況	10 月に創業塾を開催し、8 人が受講、3 件の創業があったが、中心市街地での創業はなかった。次年度以降も創業をサポートし、さらに中心市街地での創業を促進していく。

・空き店舗出店促進事業（伊丹市）

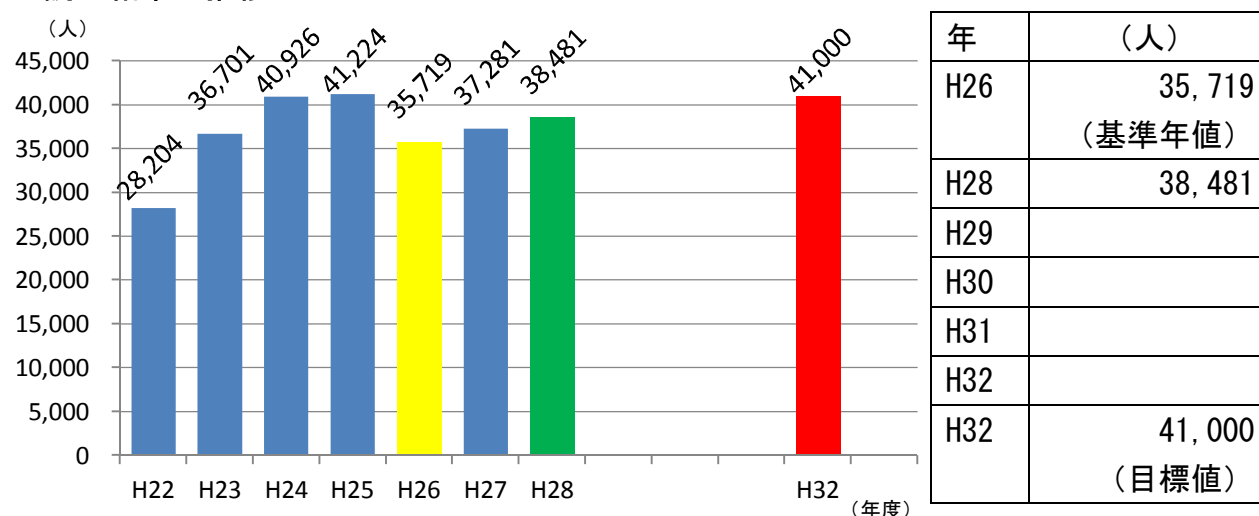
事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	商店街で空き店舗を使って新たに開業する方に一定期間の家賃等の補助をするなど、魅力ある商業集積を図る。また、新たな空き店舗や空き地での出店の際に支援を行う。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度は 14 件の申請があり、飲食店を中心として出店、近隣地域で 5 店舗の空き店舗減少につながった。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 28 年度は、空き店舗出店促進事業の申請が 14 件あったが、空き店舗も増加し、基準となる平成 27 年度からの空き店舗数は 5 店舗の減少にとどまった。しかし、空き店舗出店促進事業と併せて空き店舗リノベーション事業や創業塾に力を入れて実施することにより目標達成は可能と見込まれることから、それらを着実に実施し、魅力ある商業集積を図っていく。

③「2軸における歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P83～P87 参照

●調査結果の推移



※調査方法：歩行者・自転車通行量を毎年10月の第4週日曜日に5地点において10～20時で計測

※調査月：平成28年10月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：中心市街地内5地点（宮ノ前商店街（図書館前）、すし善前、阪急伊丹駅東、ニトリ南側、アリオ前）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・観光Wi-Fi整備事業（伊丹市）※再掲

事業完了時期	平成28年度～平成29年度【済】
事業概要	中心市街地内に公衆無線LANの環境整備をすることにより、国内外を問わず観光客の回遊性を図る。
事業効果及び進捗状況	中心市街地において11箇所のWi-Fi整備事業が完了し、歩行者・自転車通行量が1,200人増加し、回遊性の向上に寄与した。

・自転車駐車場整備事業（伊丹市）※再掲

事業完了時期	平成28年度～平成29年度【実施中】
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	阪急伊丹駅周辺2か所に機械式路上駐輪ラックを追加設置したことにより、近隣地域で歩行者・自転車通行量が1,200人増加し、回遊性が向上した。

・空き店舗リノベーション事業（伊丹都市開発㈱、民間事業者など）※再掲

事業完了時期	平成28年度～【実施中】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者

	の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
事業効果及び進捗状況	民間事業者による空き店舗リノベーションが1件ありカフェが開業した。次年度以降も交流人口の増加を推進するため、空き店舗リノベーション事業を推進していく。

・ 空き店舗出店促進事業（伊丹市）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	商店街で空き店舗を使って新たに開業する方に一定期間の家賃等の補助をするなど、魅力ある商業集積を図る。また、新たな空き店舗や空き地での出店の際に支援を行う。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度は 14 件の申請があり、飲食店を中心として出店、近隣地域で歩行者・自転車通行量が 1,200 人増加し、回遊性が向上した。

・ まちなか大規模イベントの開催・拡充（民間、伊丹市）

事業完了時期	平成 10 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地では、現在、春・秋の宮前まつり、夏のふれあい夏祭り・愛染まつり・冬の蔵まつりなど四季おりおりに大規模なイベントが開催されており、このイベントを他のイベントと合同で実施し、中心市街地のにぎわいへと繋げるため、更なる入込数の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	宮前まつりでは模擬店やフリーマーケット等の催しを実施した。また、冬の蔵まつりはダンスイベントを併せて開催するなど複数のイベントを合同で実施し、回遊性が向上した。

・ 伊丹郷町屋台村の開催（伊丹郷町商業会）

事業完了時期	平成 23 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商店主が区域内の三軒寺前広場で毎年、夏と冬に 3 日間ずつ屋台を出店する。開催時は各店舗趣向を凝らした屋台が設置され、多くの人でにぎわう。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度は、9 月 2～4 日、3 月 10～12 日に実施し、中心市街地の回遊性向上に寄与した。

・ アリフリ事業の開催（アリオ名店会）

事業完了時期	平成 19 年度～【実施中】
事業概要	JR 伊丹駅近くのアリオ名店会主催によるフリーマーケットを開催する。有岡城跡の史跡公園で実施し、フリーマーケットだけでなく、商店街のブースも設置し、商店街や個店を PR する。この

	ことにより、リピーターや新規顧客の獲得を目指す。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度は、4 月 23 日、10 月 29 日に実施し、中心市街地の回遊性向上に寄与した。
・イタミ朝マルシェの開催（伊丹市中心市街地活性化協議会）	
事業完了時期	平成 24 年度～【実施中】
事業概要	市中心部の三軒寺前広場にて、日曜日の朝に飲食や物販品など魅力ある商品を販売し、また野外演奏やダンス等を行い、市内外から来街者を呼び込み、賑わいの創出を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度は、4 月と 6 月が雨天中止となったものの、全 10 回実施し、延べ 4,000 人の参加があり、中心市街地の回遊性向上に寄与した。
・宮ノ前 2 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）	
事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の近隣商業地域に 11 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	宮ノ前 2 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域で歩行者・自転車通行量が 364 人増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。
・伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）	
事業完了時期	平成 28 年度【実施中】
事業概要	区域内の近隣商業地域に 10 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業については、当初予定より少し遅れ平成 29 年度に完成予定であり、平成 29 年度以降、近隣地域で歩行者・自転車通行量の増加が期待されている。
・伊丹 1 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）	
事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 7 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	伊丹 1 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域で歩行者・自転車通行量が増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。
・西台 1 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）	
事業完了時期	平成 28 年度【済】

事業概要	区域内の商業地域に 8 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	西台 1 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域で歩行者・自転車通行量が増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。

・西台 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 5 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	西台 3 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域で歩行者・自転車通行量が増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。

・文化施設連携事業（文化振興財団、伊丹市）※再掲

事業完了時期	平成 20 年度～【実施中】
事業概要	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設（図書館等）、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーの実施など、有機的な連携を図る。
事業効果及び進捗状況	文化施設等のイベントや中心市街地のイベントをまとめて掲載する案内を発行し、周辺地区の回遊性の向上に寄与した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

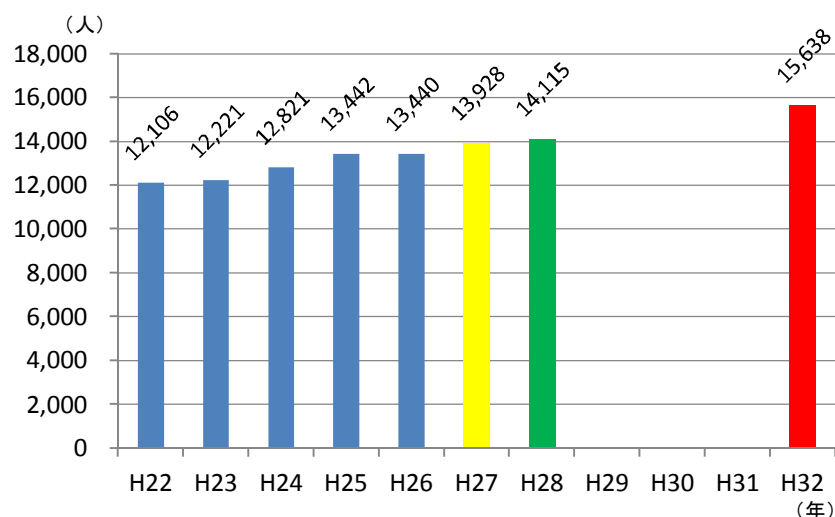
平成 28 年度に予定されていた事業は概ね実施することができたことから、歩行者・自転車通行量も増加し、目標は達成可能と見込まれる。今後も基本計画に位置付けた事業の実施を進め、中心市街地の回遊性を強化していく。

④「中心市街地における居住人口」※目標設定の考え方基本計画 P87～P89 参照

年	(人)
H27	13, 928 (基準年値)
H28	14, 115
H29	
H30	
H31	
H32	
H32	15, 638

●調査結果の推移

(目標値)



※調査方法：国勢調査推計人口

※調査月：平成 28 年 10 月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：伊丹市伊丹 1～3 丁目、中央 1～6 丁目、西台 1～5 丁目、宮ノ前 1～3 丁目

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・宮ノ前 2 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の近隣商業地域に 11 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	宮ノ前 2 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域において 73 人の人口増加があり、周辺地区の賑わい創出に寄与した。

・伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度【実施中】
事業概要	区域内の近隣商業地域に 10 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業については、当初予定より少し遅れ平成 29 年度に完成予定であり、平成 29 年度以降、近隣地域においての人口増加が期待されている。

・伊丹 1 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 7 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	伊丹 1 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域において人口増加があり、周辺地区の賑わい創出に寄与した。

・西台 1 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 8 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	西台 1 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域において 125 人の人口増加があり、周辺地区の賑わい創出に寄与した。

・西台 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 5 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
事業効果及び進捗状況	西台 3 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域において 125 人の人口増加があり、周辺地区の賑わい創出に寄与した。

・（仮称）やわらぎ保育園開設（認可保育事業）（民間事業者）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	市内の待機児童の解消を図るとともに、JR 伊丹駅周辺において認可保育事業を実施し、通勤する人の利便性に寄与することで、近隣集客拠点、まちなか居住を推進し、商業機能の底上げを図る。
事業効果及び進捗状況	定員 60 名のやわらぎ保育園が開園したことにより、近隣地域の人口増加に寄与した。

・（仮称）伊丹・サン保育園開設（小規模保育事業）（民間事業者）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	市内の待機児童の解消を図るとともに、阪急伊丹駅周辺において小規模保育事業を実施し、子育て層のまちなか居住を推進する。
事業効果及び進捗状況	定員 19 名のイタミ・サン保育園が開園したことにより、近隣地域の人口増加に寄与した。

・三世代同居・近居促進事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	三世代家族の形成を促進し、高齢者の孤立を防ぐとともに「親・子・孫の絆」の再生を図ることを目的として、子世帯の転入を促し都市力を増進させる。
事業効果及び進捗状況	三世代同居・近居促進事業により、市内全体で 28 件、中心市街地で 2 件の申請があり、近隣地域の人口増加に寄与した。

・民間賃貸住宅ストック活用事業（伊丹市）

事業完了時期	平成28年度～【実施中】
事業概要	市営住宅整備基準に適した優良な民間賃貸住宅の空き家を借り上げ、市営住宅として提供する。市営住宅の公設公営から民設公営へと転換していく。
事業効果及び進捗状況	民間賃貸住宅ストック活用事業については、現在まで市内で3戸の借り上げを進めた。いずれも中心市街地で、近隣人口の増加に寄与した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成28年度に予定されていた施策は概ね実施することができ、目標の達成は可能と見込まれる。今後も継続して「三世代同居・近居促進事業」や「民間賃貸住宅ストック活用事業」をはじめとした定住促進事業を進め、中心市街地居住人口の増加を図っていく。